

第 42 期 ITC-J 会長 高山 敦子  
 テーマ：「守る 変える そして進歩」

第 43 期テーマ：カウンスル No.2 このままでいいですか？  
 ～ひとりで思う、ふたりで語る、みんなで考える～

「Yes, and」 肯定の形でやってみる！

第 43 期カウンスル No.2 会長 鶴山 紀子



“忘れられない空がある”のナレーションで始まるトーク&トラベル番組「アナザースカイ」、アナザースカイとは第二の故郷やあこがれの場所、人生をガラリと変えてくれた場所や示唆を与えてくれた人と出会った場所という意味で使われています。ゲストが世界最先端の企業や急成長する組織が集まる米カリフォルニア州シリコンバレーを訪れて、完全セルフドライブを体験し、最新のソーラールーフや植物由来の肉類を使った料理に驚く様子を目にして、自力で未来を切り拓いていく人々の先見性や行動力に圧倒さ

れました。

この番組で印象に残った言葉が「Yes, and」です。訪れた場所での数々の出会いで価値観が変わり、知れば知るほど、学べば学ぶほど自分の世界がひろがることをゲストが身を以て伝えてくれました。しかし、私たちの周りには「Yes, and」精神の人はなかなかいないし、何かをやろうとしても「無理、無理」と言われたら、あきらめてしまうことが多かったのではないのでしょうか。

時に、私たちは「Yes, but」もしくは「No, because」を容易く口にしたり、譲歩してしまうこともあります。しかし今、とりあえず「Yes, and」という肯定の形でやってみる、そう言い続けることで関わる人々に影響を与え、信じてくれる人が増えるのではないのでしょうか。「Yes, and」精神でトライし、失敗したらエラーを修正してまたトライする、そうして学び続けることが大切であると再認識しています。

仲間と共に学ぶことでお互いが刺激し合い、学んだことを共有して経験知を増やしひろげてゆくことは ITC-J での学びそのものであると思います。カウンスルはクラブの枠や年齢を越えて、親しく語り合い、同じテーマをみんなで考える場所、人と人の繋がりを体感出来る場所であってほしいと願っています。



カウンスル No.2 第 43 期の運営を担う 41 名が集まりました。

# 共に考える

7月28日にクラブ運営研修会(CMT)が開催されました。久しぶりの対面での開催で、皆様の笑顔や楽しそうな声があふれていました。会長部門では所属8クラブの会長が「クラブの実状、問題点や困っていること、カウンスルへ望むこと、そしてITC-Jのよいところ、会員であり続ける理由、ITC-Jの魅力」などについて話し合い、貴重なご意見をうかがうことができました。

クラブ例会に出席する会員の負担を全ての面で軽減したい。

クラブへの愛着、なつかしさが元会員の再入会につながった。

カウンスル会合に出席することは視野をひろめ、入会以来親しくしてきた人に会える喜びがある。

無理をせず出来る範囲で活動を続けていきたい。

上部レベルで学びの姿を見せてもらい、あらためて学びの場であることを実感できた。学んだことをいかにして生かせることが出来るかを考えていきたい。

例会とは別仕立てで、Zoomで海外のメンバーとJoint Meetingを持つことが出来る。グローバルコミュニケーションを重視している。

No.2は大半が高齢者になったが、高齢化に甘えているところも見受けられる。

ITC-J活動は楽しいから続けてこれた。いろいろな人と会い、いろいろな考え方にふれ、新しい知識を得ることが出来る。よい経験であり、高齢になっても何かすることがあるのは非常によい。

高齢の会員には会員皆のあたたかいフォローがあり、生きがいにしている。退会を迷う会員にもあたたかい引き止めがあり継続につながっている。

8クラブそれぞれの個性があり、他クラブ訪問で自クラブとの違いを認めることが大切と思った。他カウンスルともお互い助け合っていくことが必要である。

会員の皆さんが魅力的で輝いているのを見て学びたいと思います。様々なことに興味を持ち、前向きに挑戦される姿は、私の心を揺さぶります。刺激を受けて、私までが前を向いて歩んでいるような気持ちになるのです。皆が笑顔で共に学ぶところが良いです。

ITCで学ぶことの緊張感と頑張った後の達成感、仲間との交わりの楽しさ、この何ものにも代えがたい年代を超えた喜びは他所では味わえない。

様々な出会いの中でコミュニケーションの楽しさと同時に難しさも学び「人は人の中で成長する」を実感している。

ITCを辞めたいと思った理由: 役員課題が負担になった、人間関係に悩み例会を苦痛に感じた、能力の限界を感じた、家族の介護などで時間的多忙になった。

これからもITCを続けていこうと思う理由: ITC仲間の魅力と楽しさに魅かれる、ITCでの実践が社会に役立つ、共に学び合い友情を育み進歩や前進がある、会員歴に拘らず同志として絆が強い。

退会を思いとどまった理由: 悩みを聞いてくれる友人がいた、些細な事でも評価されると一歩前進出来た、失敗を恐れなくなった、究極は楽しむことと思う。

# 第1回会合プログラム1部・2部について

第1回会合プログラムは全員参加型として、会員みんなで作ります。

1部は **テーブルディスカッション**、テーブル毎に各々が意見をメモにまとめたものを集め、最後にリーダーが意見をまとめて発表するという形をとります。リーダーの手腕を発揮していただいて、このディスカッションが今後のカウンスルを考える手立てとなることを期待しています。

テーマは①『カウンスル No.2 このままでいいですか』②『カウンスルに求めるもの』③ 各テーブルで選んだ『自由テーマ』の3つで、テーブルリーダーはクラブから選出していただいた8名の方をお願いしました。

船橋侑子(阪神) 深澤佳代子(神戸) 辻坊洋子(イースト神戸) 西阪宣枝(京都)  
播磨由美子(甲南) 横山末子(六甲) 興梶美和(御影) 中田敬子(三田)

2部は**グループリサーチ「危機について調べよう」**です。

今、私たちは社会的な危機や環境面での危機など数々の危機に直面しています。危機に対してどのような行動を起こせばよいのかはわかりませんが、少しでも自分たちで考え、行動を起こすきっかけになればよいと思い、グループリサーチを企画しました。9月14日(木)にクラブ代表メンバーが集まり、2グループに分かれてグループ別テーマを決め、話し合いました。

## A グループ『超高齢化社会の危機』

◎高島季子(御影) 大谷差智子(神戸) 筆本美智子/中里左知(イースト神戸)  
立石峯子(京都) 塩崎眞喜子(六甲) 大西奈香子(三田)



今年の敬老の日に発表された100歳以上は92,139人、総人口に占める高齢者人口の割合は29.1%で過去最高でした。私たちが高齢になった時の必須情報、介護について各メンバーが住んでいる町の情報をリサーチし、経験者のお話を聞きたいと思っています。

## B グループ『地球の危機(気候変動について)』

◎角田亘子(御影) 善塔貴美子(阪神) 藤田美代子(京都)  
伯井睦子/酢谷道子(甲南) 森谷スミ子(六甲)



Bグループは、1. 世界的な気候変動の現状 2. 気候変動を起こしている原因 3. 気候変動がもたらす結果 4. 気候変動を防ぐための方策などについて発表します。

カウンスル No.2 を考えることから社会的な危機や地球規模での危機を考えることにひろげ、43期テーマの副題～ひとりで思う、ふたりで語る、みんなで考える～を実践していただけるのではないかと思います。本日のプログラムで何か得るものがあれば幸いです。

クラブ周年記念おめでとうございます！  
益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。

京都クラブ 45周年記念  
六甲クラブ 40周年記念

編集後記:原稿依頼にご協力いただきましてありがとうございました。会報がカウンスルの現状を考える一助となりますように。一緒に考えましょう。

編集者 岡田京子(三田) 委員 旭榮(阪神)

## ITC-J 宣誓

我々、インタラクティブ トレーニング イン コミュニケーション ジャパンのメンバーは、世界中の相互理解促進のために、コミュニケーション技術と指導力の向上に努めることをここに誓います。

We, as members of Interactive Training in Communication-Japan, hereby pledge to improve our communication and leadership skills, in order to achieve greater understanding throughout the world.

## カウンスル No.2 第 43 期 第 1 回会合プログラム

日時：2023 年 11 月 13 日（月）11:00~15:00

場所：神戸ポートピアホテル 和楽の間

開 会	会 長	鵜山 紀子	11:00
ITC-J 宣誓		藤木 桂子（イースト神戸）	
挨拶	会 長	鵜山 紀子	
ゲスト紹介	会長 / 第二副会長	堂下 漣子	
<b>ITC-J インフォメーション</b>			
公式訪問者	ITC-J 会計	末廣 佳香（No.8 東京）	
ビジネス			
ビジネス終了			11:55
— 昼食（50分）—			
午後の部開始			12:50
インスピレーション		辻 良子（御影）	
		『プレッシャーは特権である。その資格を得た者だけに訪れる』	
		ビリー・ジーン・キング（女子テニス選手）	
プログラム	プログラムリーダー	朝田 美恵子（阪神）	
1 部 テーブルディスカッション			
		「カウンスル No.2 このままでいいですか～あなたのご意見は？～」	
2 部 グループリサーチ「危機について調べてみよう」			
		A グループ「超高齢化社会の危機」	
		B グループ「地球の危機（気候変動について）」	
登録者数報告	コーディネーター	中村 記子（六甲）	
タイム報告	タイマー	正明 裕子（御影）	
		後藤 蓉子（甲南）	
次回案内	第一副会長	井上 明子	
閉 会	会 長	鵜山 紀子	15:00
	ホストクラブ	六甲クラブ / 御影クラブ	
	コーディネーター	中村 記子（六甲）	
	コ・コーディネーター	梶木 博子（御影）	

クラブ	阪 神	神 戸	イースト神戸	京 都	甲 南	六 甲	御 影	三 田	合 計	
会員数	10	5	6	15	8	5	9	11	69	
登録者数										
ゲスト	一般ゲスト			他カウンスルゲスト						
	総合計									